

『塩ビスケットを つくろう』

塩釜三小での
実践を参考に

令和7年
1月28日～2月17日

○単元における願い

- ・一人一人が分担の仕事や準備・片付けの活動に精一杯取り組み、みんなで力を合わせて塩ビスケットを作ってほしい。
- ・家族や先生に食べておもらったり、頒布会を通して、達成感や自己有用感を高めてほしい。

本单元は、あおぞら学級児童全員が力を合わせて、塩ビスケットを作り、先生方や学習参観で来校した保護者に頒布しようというもの。初めて、一般の方へ頒布する試み。



実践の概要①

月/日	曜	日 程 計 画	行 事 等
1/28	火	ビスケット作りについて知ろう	
1/29	水	ビスケットのロゴを作ろう	
1/30	木		
1/31	金	パスタマシン・クリップシーラーの練習をしよう	
2/3	月	ビスケットの作り方を知ろう	卒業式練習開始
2/4	火	【調理】ビスケットを作ろう① 準備→計量→生地作り→型抜き→(焼き)→後片付け	
2/5	水	【調理】ビスケットを作ろう② ラッピング(ラベル貼り→袋詰め)	
2/6	木	先生たちに感想を聞こう	5年シン
2/7	金	ロゴのシールを貼ろう	6年シン
2/10	月	頒布の準備をしよう(担当決め・セールストーク練習) 【調理】ビスケットを作ろう③	
2/12	水	頒布練習(当日の流れで) 【調理】ビスケットを作ろう④、ラッピング	
2/13	木	【調理】ビスケットを作ろう⑤、ラッピング	
2/14	金	【販売】参観日に校内で頒布しよう	学習参観
2/17	月	売り上げを計算しよう	

※【調理】は午前中に実施、それ以外は午後に実施予定。2月20日に追加の調理を実施

ビスケット作りについて知ろう ～ビスケットの作り方を知ろう

- ・クッキー作りの経験 ⇒ 初めての塩ビスケット作りにも意欲・
ビスケットのラベルは一人一人の絵をもとにして
- ・機械の扱いを事前に練習して⇒スムーズな活動に

頒布準備(ラッピング・ラベル貼り・練習)【1袋30グラム・50円で頒布】

- ・計量はデジタルばかりで
- ・ラベル貼りはガイドに合わせて
- ・大きな学校⇒頒布は分担して
- ・セールストークを繰り返し練習



先生たちに感想を聞こう

- ・家庭科室が使えない日の活動として
- ・先生たちから聞いた意見で、作る数量の調整を
⇒好評だった『砂糖入り』を多めにして

実践の概要②○塩ビスケットの材料

小麦粉 220g
塩 5g
ベーキングパウダー 12g

【調理】ビスケットを作ろう マーガリン 45g

牛乳 100ml

計量



粉ふるい



生地練り



◎支援の工夫

- ・時計やタイマーを使用して見通しを持って活動できるように。
- 何度も同じ工程でビスケットを作成し、一人ひとりが見通しを持って作成できるようになった。

穴あけ



一度に均等に穴を開けるために
【剣山の使用】

型抜き



生地のばし



均一に生地をのばすために
【パスタマシンの使用】

- ・作っていく中で役割を変えて作っていき、児童の特性に合った役割を固定⇒効率UP
- ・牛乳と塩をムラなく混ぜるために【シェーカーの使用】

頒布会・売上計算

学習参観日に3か所に分かれて頒布活動

⇒練習の成果+自分の作ったビスケット⇒短時間で『完売』



子どもたちの姿

お菓子屋さんになりたいという夢を見つけた長山さん(5年)

元々調理が得意だった長山さんは、この単元で「お菓子屋さんになりたい」という夢を見つけた。毎日クロームブックで美味しいビスケットの作り方を調べ、メモして担任に教えてくれる中で、読めないカタカナや漢字に出会い、文字の大切さに気づく。以前は文字の読み書きに強い抵抗があり、「字なんか読めなくてもいい」と学習に意欲がなかったが、この単元で国語の学習にも前向きに取り組むように。保護者から連絡帳には、「初めて家で宿題以外の勉強をしている。すごいです！」と。



頒布会で大きな声を出して呼び込みを行った佐山さん(5年)

人前で大きな声で話すのが苦手で聞き取るのがやっとだった佐山さん。塩ビスケット作りでは高学年として活躍。そこで培った自信と自分たちが作ったビスケットをたくさん売りたいという思いから、学習参観や職員室前での頒布会では、大きな声を出して呼び込みを行った。この姿を見た保護者の目には涙が。この単元でのビスケット頒布での経験をもとにスーパーなど店で働く人になりたいという夢を見つけた。

食わず嫌いだったビスケットを食べられるようになった山本さん(2年)

食わず嫌いが多い山本さん。塩ビスケットにイチゴジャムをのせることで食べられるように。その後はジャムなしでも食べ、迎えに来た母に嬉しそうに報告。後日、母から「これまで食べなかつたものに一口挑戦することが増えた」と連絡があり、学校でも給食の野菜を一口食べたり、学級みんなで作ったチョコバナナでチョコレートが食べられたりと変化が見られた。友達と協力して作った経験が、食への関心を高めた。



『塩ビスケットをつくろう』のまとめ

○保護者・頒布会購入者から

- ・「作り方を聞くと、嬉しそうに教えてくれました。妹から『お姉ちゃん美味しいよ！』と言われ、嬉しそうでした。」。両親だけではなく、兄弟の中でも話題の一つになっていて嬉しかった。
- ・「家でも塩ビスケット作りを楽しみにしていて、タブレットでレシピを調べて報告してくれます。帰ると、『みんなとできたよ！生地を20分こねたよ！』と、できることを嬉しそうに報告してくれます。」・元気いっぱいの呼び込みで好印象でした。・笑顔で接客してくれて嬉しかったです。
- ・パッケージは色々な種類があってすべてかわいくて、ビスケット歯ごたえがあって美味しかったです。家族みんなでいただきました。初めてでしたが、これからも継続されるといいと思います。
- ・通常学級に在籍し学習面で心配がある子の父です。ビスケットを買い、チラシで工程や活動を見せてもらいました。息子のことを思ったつもりで通常学級に居させましたが、山王小のあおぞら学級なら息子を入れたいと思いました。教員をしていて実際的な活動の大切さと難しさを理解していますが、子どもたちのために活動を考え、実践している山王小は本当に素晴らしいです。

【成果と課題】

- 初めての塩ビスケット作り。塩三小のノウハウ+3人の担任の工夫と研究⇒充実した活動に○同じ活動の繰り返しで見通しが持ちやすい⇒集中して取り組む姿、意欲の向上
- 家庭や頒布会でのリアルな反応。たくさんの人からの「すごいね。」「美味しいよ。」⇒自信や達成感
- ▲実施時期と場所⇒他学年との家庭科室使用の調整▲短い消費期限⇒保健所への申請▲現金(売上)の扱い⇒学校で頒布を行うことに対する校内の逆風

2月21日

千葉県で開催された日本生活中心教育研究会で頒布を行う（約100袋完売）

